

一般質問

山口
議員

一、福島道の駅建設に向けて
二、福島町主要道路の整備の状況と計画及び草刈り・陰切りの徹底について

質問

答弁

一、つばき荘入口の県道脇に漁協が経営する直販所海の駅がある。新鮮な魚介や農産物が販売され、人気があります。近年、農家の主婦を中心に農産物直売のトラック朝市うるうるが、月に1回開かれていましたが、本年からは、海の駅の横に常設テントを設け、毎週日曜日に開かれています。福島にも松浦の海のふるさと館や鷹島の鷹ら島のような施設を建設する考えはないか。

二、(1)県道里工区の今後の計画と完成後の初ノ浦区域の工事は、どう予定されているか。(2)土谷棚田付近の側溝蓋の布設は、その後どうなっているか。(3)中学校付近の道路の改良は、何年の計画か。(4)バス巡回道の未整備区間における改良計画はどうなっているか。(5)土谷里線の未整備区間も全線整備すべきではないか。(6)県道は、草刈りや陰切り等が不十分で草木がはみ出し、危険で苦情も多い。早急な対応の徹底を県に強く求めてほしい。

その他福島町全域公園化に向けた取り組みについて質問しました。

一、うるうる福島町の代表の方からは、駐車場の整備や将来は加工所を備えた直売所にしたというお話をお聞きしています。海のふるさと館や鷹ら島と同様な機能を備えた施設の検討を地元関係者で行ってはどうかともお話しています。管理運営も含めて計画をご検討頂き、地元からのご提案があれば市としても前向きに検討いたします。

二、(1)県からは、本年度に物件補償調査を行い、用地確保の目処が立った時点で工事に着手する予定と聞いています。その後については、まだ決定していません。

(2)県へは要望を行っていますが、予算や人力的な面で対応が遅れているようです。

(3)本年度より本格的な事業に着手し、28年度の完成を目標としています。

(4)土谷鯛ノ鼻線が26年度以降の予定です。清水川鳥越線は塩浜里線の完了後を予定しており、現時点ではまだ未定です。

(5)整備対象路線が多数あり、計画立案可能な時期が来れば対応したい。

(6)県には再度要望をいたします。

一般質問

吉原
議員

一、森林利活用による林地の保全とそれに関わる雇用の創出について
二、上志佐小学校運動場下の歩道の改良について

質問

答弁

一、(1)森林施業で発生する林木の有効利用と、それに関わる雇用の創出の向上を図るために、専任職員の配置やコンサル会社に調査を依頼して取り組んでいるが、今後どのような事業化をされるのか。

(2)おが粉製造の場合、単年度で市の助成額は幾ら必要と見込むのか。

(3)バイオマス燃料としての活用の取り組み概要を伺いたい。

(4)バイオマス発電は、燃料となる原材料の安定確保が重要な要素です。市単独でなく広域の連携が必要となるのではないかと。

(5)プラントを立地するまでの計画があるのか、それとも原木の輸送だけなのか。曲がつた物や端材を輸送すれば運搬コストは高くなり、多くの雇用は望めないのではないかと。

(6)市長の森林活用に対する熱意を。

二、登下校時の小学校児童、公民館や保育所の利用者が通うに足らず歩道が大変狭く、危険な状況です。運動場側への拡幅や県道の反対側に設置するなど、早急に安全スペースを確保すべきではないかと。

一、(1)昨年度、木質バイオマス事業の調査委託と専門家の意見を反映させるための森林資源利用研究会を設置し、事業化に向けた検討を行いました。現在、家畜敷料に使用するおが粉製造と木質バイオマス発電事業の方向性を研究しています。

(2)前年度の事業の試算では、市の補填額として720万円程度が必要との結果が出ています。

(3)現在、原料価格の採算性の関係から、事業向けの木材の動向を踏まえて検討することとしています。

(4)ある程度採算性のある発電規模となると、原料の集積区域は、佐賀県を含めたところまで集めなければ事業が成り立たないといった状況です。

(5)採算性が合うかどうか、事業計画を十分に検討して取り組みたい。

(6)森林の活用が地域の活性化につながるという考えを基本に、今後も精力的に取り組んでいきたい。

二、歩道としては、標準的に2メートルの幅を確保する必要がありますので、どういう形で安全な歩道が確保できるか県及び教育委員会と協議を進めてまいりたい。